

ともだち



人と人との出会いを大切に
笑顔の輪を広げましょう

高崎市国際交流協会会報第90号

2020.2

◆トピックス(2019年11月～2019年12月)

■Cool Takasaki 発信事業～茶道体験～



11月10日、高崎シティギャラリーで行われた高崎茶道会と高崎市共催の合同茶会に、カナダ・アメリカ出身者、計5人が参加しました。参加者は3つの流派の茶席を体験し、作法や道具の名前、床の間の掛け軸の意味などについて話を聞きました。(事務局)

■外国人のための無料法律相談

12月8日、中央公民館で、外国人のための法律相談が群馬県観光物産国際協会との共催で行われました。5か国17人の外国人が通訳者と共に、弁護士や行政書士、社会保険労務士に相談しました。主な相談内容は雇用・労働、社会保険、医療関係でした。(事務局)

■ジュニアインターナショナルクラブ ～外国料理食事会 & インドネシアについて知ろう～

12月1日、ASEAN CAFE高崎店で、インドネシア料理の食事会が開催され、ジュニアインターナショナルクラブのメンバー25人が参加しました。インドネシア出身のアプリアントさんをゲストに迎え、ナシゴレン(米を炒めたインドネシア料理)を食べながら、各自用意してきたクイズを出し合ったり、ゲストの話を聞いたりして、インドネシアの食べ物や地理、宗教や産業について学びました。(青少年育成部会)



◆おしらせ(2020年2月～2020年3月)

■青少年グローバル人材育成講演会

日時=2月16日(日曜日)午前10時～12時 ●場所=中央公民館(末広町) ●講師=アジア学院副校長の大柳由紀子さん ●内容=フェアトレードを通して自分と世界のつながりについて学ぶ ●対象=小学4年生から中学生とその保護者 ●費用=無料 ●申込=2月13日(木曜日)までに電話かE-mailで事務局へ

■多文化交流の集い



日時=3月15日(日曜日)午後1時30分～4時 ●場所=高崎市総合福祉センター(末広町) ●内容=習慣などの違いをクイズ形式で話題に取り上げながら、多文化共生につ

いて考える ●定員=先着30人 ●費用=200円 ●対象=高校生以上 ●申込=電話かE-mailで事務局へ

■Cool Takasaki 発信事業～新町ひなまつり巡りと飾り巻き寿司教室～

日時=2月29日(土曜日)午前11時～午後2時 ●場所=新町公民館(新町) ●講師=高橋文子さん(飾り巻き寿司インストラクター、多文化講師)



●内容=おひな様をテーマとした飾り巻き寿司を作った後、ひな人形を見て歩く ●対象=在住外国人 ●定員=先着16人 ●費用=1,000円 ●申込=電話かE-mailで事務局へ

とくしゅう きじ にほん ごきょうしつ
◆特集記事◆日本語教室

現在、高崎市には6000人近い外国人が暮らしています。
 高崎市国際交流協会は、会員の有志の方々と共に、その生活をサポートする事業を行っています。その一つが日本語教室です。

日本語教室は、中央公民館で3コース、新町文化ホールで2コース、中居公民館、群馬福祉会館、吉井西コミュニティセンターで各1コース(市内5会場で計8コース)、それぞれ春・秋・冬の3期(各期10回)行われています。平成30年度は29か国309人の外国人が日本語を学習に来ました(下表参照)。教室では、日本語レベルや、上手に話せるようになりたい、漢字が読めるようになりたいなどの学習目的別に、マンツーマンか小さなグループで、日本語を学ぶことができます。普段の生活の中で日本人との接点がありません人にとっては、日本人と交流しながら、生活に必要な情報を得たり、新しい友達を作ったりできる貴重な場にもなっています。

この日本語教室を支えているのが、約70人の**日本語支援者**の方々です。20年近くのベテランから昨年始めた人までいて、それぞれ自分が担当する学習者の日本語レベルや学習目的にあわせて、市販の教材や手作りのプリント、新聞広告など身の回りにある物を活用して、日本語の習得をお手伝いしています。例えば、写真のように模擬紙幣とレシートを使って、数字や物の名前、買い物の時に耳にする表現を取り上げるなど、学習者の日常生活に寄り添っています。日本語支援者は、1年おきに募集され、日本語の専門家の話を聞いたり、日本語教室の見学をしたりしてから、日本語教室での活動を始めます。現在、新規の日本語支援者14人が教室見学中で、5月に始まる春の教室から活動に加わる予定です。



平成30年度日本語教室学習者国別一覧

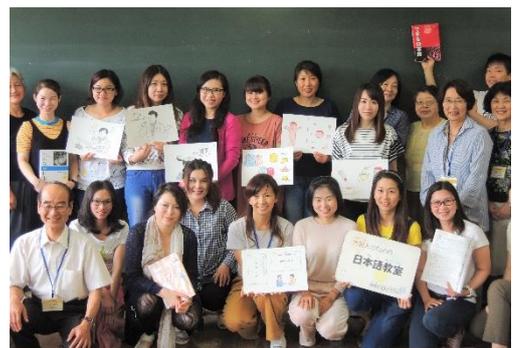
国名	春	秋	冬	合計
アメリカ	6	13	12	31
アルゼンチン		1		1
イギリス	5	2	4	11
イタリア	1	2	1	4
イラク		1	1	2
イラン		4		4
インド	4	1	1	6
インドネシア			1	1
オーストラリア	2			2
カナダ	6	3	1	10
韓国	2	1	1	4
スリランカ		4	3	7
タイ	2	2	4	8
台湾	4	3	2	9
中国	21	18	16	55
ドイツ		1		1
ニュージーランド	1	1		2
ネパール	4		2	6
パキスタン	3	3	4	10
フィリピン	20	22	12	54
ブラジル	2			2
ベトナム	14	5	20	39
ペルー		1	1	2
ポーランド		1	1	2
マレーシア	2	4	1	7
ミャンマー	1	3	1	5
モンゴル	6	5	4	15
ラオス		4	1	5
ロシア	1	1	2	4
合計	107	106	96	309

日本語支援者 思うこととあれこれ



NO1 中央公民館(火曜日)教室 関口佳代さん

外国人と交流したいと軽い気持ちで始めた活動でした。日本語の教え方も何も知らないまま始め、自分の日本語の知識の乏しさや、教えることの難しさを知りました。そこで、研修で日本語の規則や教授法を学びました。それは、学校で習った国語とは全く違い新鮮で興味深く、また、その後の活動にとっても役立ちました。一方、様々な国からの学習者との交流はとても楽しく有意義なものでした。いろいろな国の人と出会い、文化や風習を知り、世界への興味が広がりました。さらに、学習者の家庭や生活の悩みが自分と同じだと感じ、日本人の目線ではわからなかった苦労や不便さも知りました。軽い気持ちで始めた活動が、思いのほか長く続いています。



そして、日本語教室の合間には、支援力を高めるために**ステップアップ研修**を行っています。各教室から選出された研修担当者が、企画・運営しているため、日ごろの疑問が解消される、日本語に対する知的好奇心が満たされるなど、毎回好評です。

国際化する地域社会において、日本語教室は欠かせない場所となっています。そこに集う人たちは、日本語を学ぶ・教えるというだけでなく、お互いを尊重し、相互理解を深めながら、地域の**多文化共生**をけん引しています。

令和元年度のステップアップ研修

日時	内容	講師
9月29日 【参加者:16人】	日本語支援活動を続けて30年、そこから見えてきたこと～疑問・悩み・問題点を共に考える～	まえばししこくさいこうりゅうかいにほんごランティア 弥城節子 先生
11月10日 【参加者:16人】	学習者との意見交換・交流会	日本語教室の学習者6人
11月24日 【参加者:24人】	テキスト「いっぽにほんごさんぽ 暮らしのにほんご教室」を使って学習者と支援者の学びあい～文型は話すための道具～	にほんごの会企業組合講師 天坊千明 先生
12月8日 【参加者:23人】	日本語教材を理解するための文法知識 日本語学習者が習得しにくい文法「避けて通れない複文の話」	群馬大学国際センター准教授 牧原功 先生



NO2 新町文化ホール・中居公民館教室 関口高志さん

今年で活動10年目となる日本語教室でのボランティア。継続して支援することの難しさを実感している。途中から連絡もなく来なくなってしまう学習者がいると、支援の仕方が悪かったのかと反省ばかり。一方仕事が見つかり教室へは来られないという学習者がいると、学習の成果あってこそ日本の会社で働けるのだからと喜ばしく思うようにしている。昨年末にはベトナム人学習者に、作文コンクールに応募する原稿を見て下さいと言われた。相談しながらアドバイスすると、その作文が700名もの応募の中で2等賞に選ばれたとお礼に来た。手土産のお菓子を頂きながら、長く続けてきたことの喜びと充実感に満たされたのだった。



NO3 中央公民館(土曜日)教室 山田千登世さん

私が学習支援ボランティアを始めてちょうど1年経ち、ようやく慣れてきましたが、まだまだ失敗の連続です。学習者さんからある言葉について質問され、私は別の言葉に言い換えようとしたがでてこない。「えーと何だっけ。ほら、あれだよ」と独り言を言いながら、思い出そうと必死でした。ふとその学習者さんを見たら、質問された言葉の下に、ほらあれ、と書いていました。こんな私ですがボランティアを続けられているのは、共に支援をしている方々のおかげです。今、世界各地では様々なことが起きています。でも日本語教室では、いろいろな国の人々が肩を並べて楽しそうに勉強しています。こんな風景が永遠に続くことを切に願います。



◆ボランティアをしよう!

こうほうせんでん ぶ かい ～広報宣伝部会～

広報宣伝部会は、皆さんが今手にしているこの会報を2か月に一度発行するために、毎週木曜日の午前中、国際交流コーナーで活動しています。次号に載せるトピックスとお知らせの洗い出しをし、原稿を書いたり、または依頼したりします。その後は編集、校正を経て発行となります。

会報を作るにあたって、部会で決めたことがあります。それは「読みやすい、わかりやすい、親しみやすい」紙面を作ることです。なるべくわかりにくい表現を使わないこと。日本に来て日本語を勉強中の人にも理解しやすい文章にすること。お知らせにはふりがなをふるのもそのためです。

やはり嬉しいのは、読んでいて楽しいと言われることで

国際交流協会の中にある様々なグループ(活動)を紹介します。
あなたにあったグループ(活動)を見つけて、ぜひ参加してください。

す。そして発送作業時には一区切りついて新しい会報を生み出したことに幸せを感じます。ただ100%満足のいく出来というのはなくて、何かしらの反省点があり、力不足も感じます。だからまた次を頑張ろうと思うのかもしれない。



現在4人で事務局のお力を借りながら編集作業をしています。発送のための宛名シール貼りや封入作業も楽しくおしゃべりしながらやっています。何かやりたいけど自分にもできるかな?と思う方、大丈夫です、できます。少し勇気を出して飛び込んでみませんか。まずは見学にいらしてください。お待ちしております。(部会長 綿貫典子)

ラジオ たかさき 高崎

たかさき 「マイタウン高崎」

【放送日時】

第1・3金曜日 午前9時15分～9時25分
再放送 午後12時30分～12時40分

【放送予定】

- 2月7日 青少年グローバル人材育成講演会
- 2月21日 ポルトガル語養成講座
- 3月6日 多文化交流の集い
- 3月20日 令和2年度事業計画
- 4月3日 バトルクレーク交換学生募集

※放送日時や内容が変わることがあります。

がいこくじん 外国人 せいかつそうだん 生活相談

がいこくご せいかつそうだん 外国語で生活相談ができます

【対応言語と相談日】

英語 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後4時30分
ポルトガル語と中国語 月曜日と木曜日 午後1時～5時

【場所】

高崎市役所2階 国際交流コーナー

電話でも相談をすることができます



Consultation / 相談 / Consultas

English: Monday - Friday, 8:30am - 4:30pm

中国語: 星期一和星期四、下午1時～5時

Português: Segunda e quinta das 13:00 às 17:00hs.

にゆうかいあんない ◆◆◆入会案内◆◆◆

●会費＝個人2,000円 団体・法人10,000円(4月～翌年3月の1年間有効)

※10月以降の新規入会は半額

●納入方法＝事務局窓口もしくは郵便振込

令和2年度の会員受付は、4月から行います。(継続会員には4月に通知と一緒に振込手数料のかからない払込用紙を送ります。)

詳しい方法は事務局へお問い合わせください。

ともだち

発行 高崎市国際交流協会
たかさき たかまつちよう

〒370-8501 高崎市高松町35-1

TEL 027-321-1201

FAX 027-330-1819

MAIL office@takasaki-irs.org

HP http://www.glocalfive.net/tirs

発行日 令和2年(2020年)2月